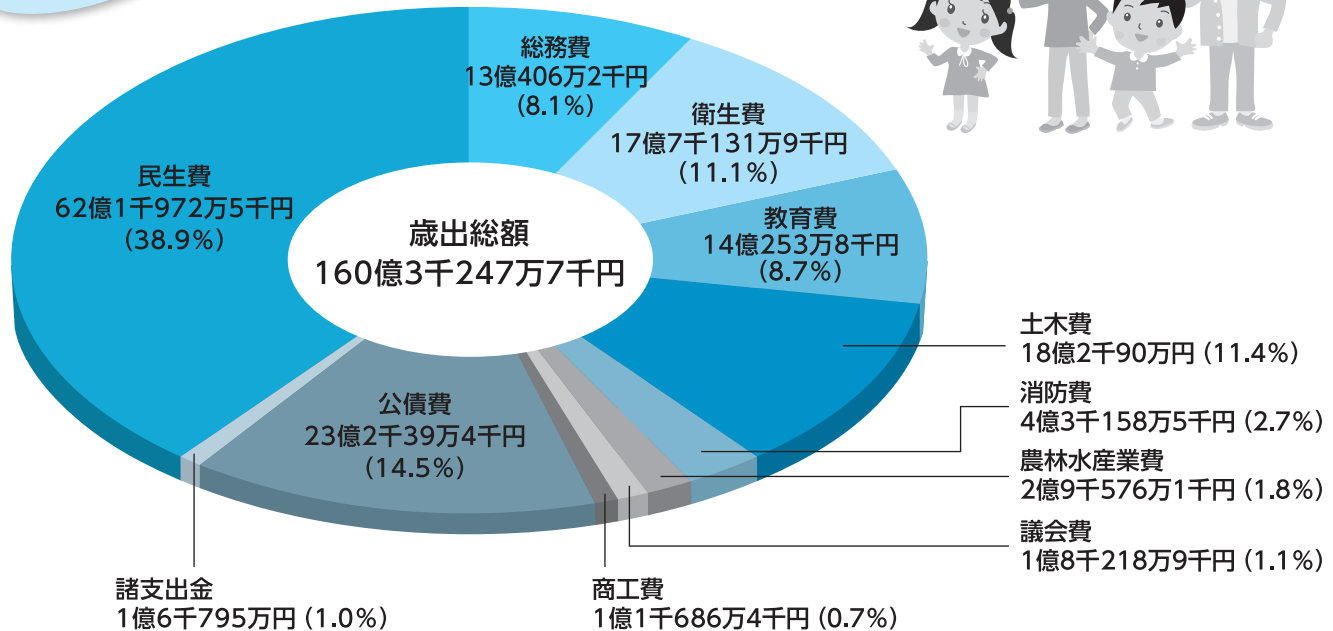


# 平成30年度決算

## 歳出



## 市債の状況

区分	現在高
普通債	173億3千935万9千円
災害復旧債	291万2千円

## 市税の負担状況

税目	収入済額	1世帯あたり負担額	市民1人あたり負担額
市民税	19億5千968万円	11万4千円	5万2千円
固定資産税	20億4千991万9千円	12万円	5万4千円
軽自動車税	1億3千602万8千円	8千円	4千円
市たばこ税	2億9千213万2千円	1万7千円	8千円
市税総額	44億3千775万9千円	25万9千円	11万7千円

## 平成30年度決算に基づく健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断基準	※(1.65)	※(9.00)	12.7	105.9
早期健全化基準	13.63	18.63	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、比率が－(マイナス)時には数値として現れないため、黒字の比率を表示。

## 平成30年度決算に基づく資金不足比率

	水道事業会計	公共下水道事業特別会計
資金不足比率	－	－
経営健全化基準	20.00	20.00

※資金不足比率は、比率が－(マイナス)のため、－表示。

## 小松島市の健全化判断比率・資金不足比率の状況は

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、毎年度、前年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率の公表を行っています。健全化判断比率、資金不足比率が一定の基準以上となった場合は財政健全化計画および財政再生計画の策定などが義務付けられています。

平成30年度決算に基づいた各指標の算定の結果、平成30年度健全化判断比率はいずれも早期健全化基準、財政再生基準を下回り、資金不足比率についても各企業会計において経営健全化基準を下回りました。

指標の説明など詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。